

# 第6回対話の場について



- 日時：2022年3月29日（火）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員15名、ファシリテーター3名、神恵内村、経済産業省、北海道庁、NUMO

## <対話のテーマ>



- ① 運営委員会の開催結果報告
  - ・ 村民アンケート結果 ・ 対話の場の委員公募
- ② 文献調査の進捗状況について
- ③ 文献調査に関する質疑応答

※当日の資料などについては、NUMOのホームページに掲載し、神恵内交流センターで配布しております。より詳しい内容にご関心のある方には、交流センター職員がご説明に伺いますので、以下の問い合わせ窓口までお気軽にご連絡ください。(電話番号:0135-67-7711)

## ① 運営委員会の開催結果

### 【村民アンケート結果】

- アンケートは、村民のみなさまのご関心事項を把握し、対話の場のテーマや実施内容の参考とする事を目的として実施しました。
- 村内の全360戸に配布し、70の回答がありました（回答率19.4%）。
- 今後、村民のみなさまのご要望を踏まえ、対話の場の実施内容の参考にするとともに、幌延深地層研究センターや六ヶ所村における日本原燃株の施設の視察や、専門家による講演会の実施を検討して参ります。

### 【対話の場委員の公募】

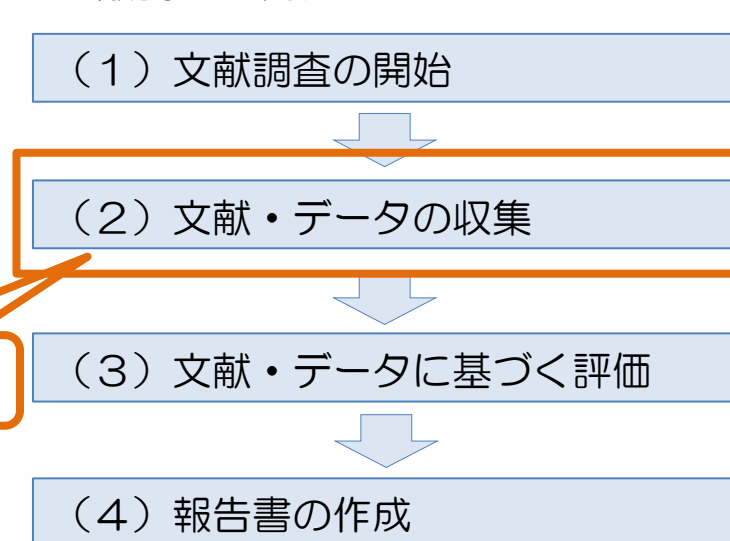
- 新たに対話の場の委員を募集する事になりました（2～3名）。
- 別途、事務局よりご案内しますので、ご興味のある方はぜひお申込み下さい。

## ② 文献調査の進捗状況について

- 文献調査は、ボーリング等を含む現地調査（概要調査）に進むかどうかの検討材料として、地質データ等を調査分析し、みなさまに情報提供を行う、事前調査的な位置づけです。
- 現在、文献調査の行程のうち、「文献・データの収集」がおおむね終了しました。

**おおむね終了**

### <文献調査の流れ>



- 今後、収集した文献・データを用いて、評価を実施して参ります。

## ③ 文献調査に関する質疑応答

- 前回（昨年12月）の対話の場において、委員のみなさまからの文献調査に関するご質問のうち、お答えしていないご質問について、NUMOの文献調査担当者から回答しました。

### <主なご質問と回答>

#### 【ご質問】 水冷破碎岩の硬さはどれくらい？

- 豊浜トンネルの水冷破碎岩は、地層処分の深度と比べると、深度が浅く地表付近に分布しています。
- 水冷破碎岩には、様々な種類があり、その強度に関しても様々であると考えられます。地層処分を実施する場所の岩盤について、その場所の条件を考慮して試験を実施するなど、丁寧な調査が必要です。

#### 【ご質問】 神恵内村の地層は、どれくらい前の年代のもの？

- 神恵内村で一番古い地層は、ジュラ紀の地層で、約1億数千万年前の地層です。
- 海沿いの、主に水冷破碎岩が分布している地域の地層は、中新世の地層で、約2,300万年前以降の地層です。

#### 【ご質問】 温泉998を掘った時のデータはありますか？

- 温泉998を掘った時のデータも収集しています。1,100m位まで掘られています。

#### 【ご質問】 昔、鉱山があったところの近くに処分して大丈夫？（珊内、小川など）

- 鉱山の跡だけでなく、その近くの地質的に鉱物が分布している範囲を調べます。
- 経済性の高い鉱物であれば、将来、放射性廃棄物が埋設されている事を知らずに鉱物を採掘することで、誤って放射性廃棄物を掘り返す等のおそれがあるため、このような場所は避けます。

#### 【ご質問】 文献調査は何%くらい進んでいますか？本当に2年で終わりますか？

- 文献調査は2年程度を目安にしていますが、今後の評価につきましては、初めてのことで、現時点でどれくらいの時間を要するか、あらかじめ判断する事は困難です。したがって文献調査全体の進捗もお示しすることは難しい状況です。



質疑応答の様子

対話の場における配布資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO <https://www.numo.or.jp/>

